令和５年度　学校評価結果報告

令和５年３月

徳島市立助任幼稚園

１　令和５年度　学校評価について

（１）本園学校評価の目的

　　　本園では，教育活動その他の園運営について目指すべき目標を設定し，その達成状況や達成に向けた取組の適切さについて評価することにより，園としての組織的・継続的な改善を図ることを目的として幼稚園評価を実施している。

（２）本園の教育目標

　〇　望ましい環境の中で，豊かな体験を通して心身ともに健全な人間形成の基礎を培う。

＜めざす子ども像＞　　・健康で安全な生活ができる子ども

・思いやりのあるやさしい子ども

・自分から取り組みがんばる子ども

（３）令和５年度重点目標

○　幼児一人一人を大切にした保育を実践し，互いに認め合い育ち合う仲間づくりをめざす。

○　特別支援教育について関係機関と連携を図り，幼児一人一人の課題に応じた支援や指導方法を研修するとともに実践する。

○　地域の自然環境や人材など，地域の教育力を活かした保育を進める。

○　健康な心身や望ましい習慣，豊かな人間性，心情・意欲・態度など生きる力の基礎を育成する。

○　全職員が専門職としての自覚をもち，資質の向上を図りながら，研修を推進する。

＜研究テーマ＞　『資質・能力を育むための幼児教育』

　　　　　　　　　一人一人が安心して思いを表現できるあたたかい仲間づくりを目指して

（４）評価方法

　〇保護者評価（保護者による評価）…　アンケート方式，自由記述欄（無記名）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（幼稚園教育について・子どもの成長）

〇自己評価（教職員による評価）…　アンケート方式，自己点検，自由記述欄（無記名）

　〇学校関係者評価（園評議員）…　評議員会での意見聴取

＜評価公表について＞

　・評価を集計し，評価結果をまとめる。

　・保護者にはアンケート結果及び考察を手紙で配布する。

　・園評議員会で評価結果を公表し，意見を伺う。

２　自己評価の結果と今後の改善方策について

８つの項目について自己点検・自己評価を行い，その結果と保護者アンケートの結果を踏まえ，

今後の改善方策を考察した。

教師１１名，保護者９２名中７４名回答

Ａ：よくあてはまる　　Ｂ：ややあてはまる　　Ｃ：あまりあてはまらない　　Ｄ：全くあてはまらない　　Ｅ：わからない

（１）幼稚園運営一般について 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（％）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 観　点 | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ | Ｅ |
| 教師 | 経営方針・指導計画・日々の保育に教育目標の具体化ができるよう努めている。 | 18.2 | 72.7 | 9.1 |  |  |
| 園務分掌が適切に分担され，担当者を中心に連絡調整して計画的に進めている。 | 54.5 | 45.5 |  |  |  |
| 教職員の話し合いが十分なされ，共通理解のもと協力して保育や園務ができている。 | 27.3 | 72.7 |  |  |  |

・　全職員が，経営方針や園務について共通理解して取り組むことができるよう，年度初めだけで

なく，職員会等の機会に経営方針について話し，全職員が同じ方向に向かって取り組んでいくこ

とができるようにしていきたい。

・　教育目標に向かって具体的な教育課程や指導計画を作成し，日々の保育に取り組んでいくため

には，担任は幼児の実態をできるだけ早く把握しなければならない。いつでも教職員間で相談し

合ったり，話し合ったりすることができるような職場環境にしていきたい。

（２）幼児理解・幼児指導について　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（％）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 観　点 | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ | Ｅ |
| 教師 | 幼児との信頼関係をしっかりと築き，幼児が安心して行動できるようにしている。 | 63.6 | 27.3 |  |  |  |
| 幼児の姿の変容を記録することにより，幼児の育ちを捉えている。 | 9.1 | 63.6 | 18.2 | 9.1 |  |
| 一人一人の発達課題を明らかにしながら，幼児の意欲や主体性を育てるきめ細やかな指導を心掛けている。 | 27.3 | 63.6 |  |  |  |
| チーム保育による一人一人に応じた多面的な関わりで，発達支援を行っている。 | 36.4 | 63.6 |  |  |  |
| 保護者 | 幼稚園は，子どものことをよく理解し，一人一人を大切にした保育をしている。 | 74.7 | 21.5 | 1.3 |  | 2.5 |
| 幼稚園は，子どもが伸び伸びと自信をもって活動できるように指導の工夫を行っている。 | 86.1 | 10.1 | 1.3 |  | 2.5 |

・　担任している教師は，クラスの幼児について細かく記録し，幼児の実態を捉え，それに応じた関わりができている。日々の活動や幼児の心の動き・教師の援助と反省などを週録に記録していて，きめ細やかな指導につながっている。担任外の教師も記録はしていないが，幼児の様子やいざこざがあった場合の内容などについて，担任とよく話をし連携がとれている。複数の教師が関わることができており，多面的な関わりができているという点ではプラスの面ではあるが，教師同士が幼児の実態や関わり方について，共通理解しているかというと十分であるとはいえないと思う。幼児一人一人について教師全員が共通理解し，保護者に一人一人の様子や育ちを丁寧に伝えることで，保護者にも幼児一人一人を大切にした保育ができていることを感じてもらえるようにしていきたい。

（３）環境の配慮　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（％）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 観　点 | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ | Ｅ |
| 教師 | 様々な経験ができるように，人的・物的な環境を工夫している。 | 9.1 | 90.9 |  |  |  |
| 教師が率先して，子どもと一緒に遊び込んでいる。 | 18.2 | 63.6 | 18.2 |  |  |
| 戸外遊びに興味や関心がもてるような場づくりをしている。 | 9.1 | 90.9 |  |  |  |
| 幼児にとって魅力のある保育室や遊びの場を用意している。 |  | 100.0 |  |  |  |
| 遊びに必要な遊具や用具を幼児の目に付く位置に置いたり，必要なものを要求に応じて取り出したりできるようにしている。 | 27.3 | 72.7 |  |  |  |
| 安全面に配慮し，安心して遊べる場を工夫している。 | 45.5 | 54.5 |  |  |  |
| 幼児の遊びの状況を把握しながら，遊具を出したり片付けたりなど，環境の再構成に心掛けている。 | 45.5 | 54.5 |  |  |  |
| 保護者 | 幼稚園は，子どもが健康で安全な生活ができるよう安全点検や避難訓練を実施したり，衛生面に配慮したりしている。 | 78.5 | 20.3 | 1.3 |  |  |
| 幼稚園は，子どもの興味や関心・季節を大切にしながら，環境の整備や工夫に努めている。 | 87.3 | 10.1 | 1.3 |  | 1.3 |
| お子様は，幼稚園での生活を楽しみにしており，喜んで登園している。 | 82.3 | 12.7 | 5.1 |  |  |

・　保護者アンケートで，数人ではあるが『幼稚園に喜んで登園できていない』幼児がいることがわかった。幼児が幼稚園での生活を楽しみにできるよう，幼児にとって魅力ある環境を構成していくことが必要である。また，幼児の興味や関心・発達に即した環境について，年限や園全体で共通理解して環境を構成していくことも必要である。

* 幼稚園教育は環境を通して行われるものであり，環境を構成するために，教師は幼児と一緒に遊

び，その関わりの中から幼児の興味や関心・発達を捉えていくことが大切である。教師はねらいをもちながら，その環境の中で幼児と一緒に遊び込んでいくことが大切である。

* 幼児が安心して安全に遊ぶことができる環境は大前提であり，その上で教師が率先して遊び，遊

びを楽しむことが大切であると思う。

（４）友達関係の把握　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（％）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 観　点 | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ | Ｅ |
| 教師 | 幼児との信頼関係をしっかりと築き，安心して行動できるようにしている。 | 63.6 | 27.3 |  |  |  |
| 友達とのつながりがもてる援助や遊びの提示をしている。 | 18.2 | 81.8 |  |  |  |
| 友達関係を丁寧に把握し，力関係の調整を適切に援助している。 | 9.1 | 90.9 |  |  |  |
| 問題やトラブルが発生したとき，その内容や意味を理解し，よりよい方向に導いている。 | 27.3 | 54.5 | 18.2 |  |  |

・　幼児は教師との信頼関係を基盤にし，遊びを通して友達関係を広げていく。教師は幼児と共に

遊びながら幼児の思いを受け止め，幼児との信頼関係を築くことができるようにしていかなけれ

ばならない。また，クラスの活動として，友達と触れ合い，つながりをもつことができるような

活動を工夫し取り組んでいかなければならない。

・　教師は，幼児同士のトラブルが発生したとき，幼児一人一人の思いをよく聞き，言葉で幼児の

　思いを代弁したり補ったりして幼児同士の気持ちの橋渡しをするなど，友達との関係がよりよく

　なるような援助をしている。時間が限られている場合もあるが，よく話を聞くことが大切である。

また，その場に応じた援助も必要であるが，日々の記録によって友達関係を把握し援助をしてい

くことも大切である。

（５）基本的な生活習慣の自立　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（％）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 観　点 | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ | Ｅ |
| 教師 | 幼児のやろうとする意欲を育てる指導が適切にできている。 | 18.2 | 72.7 | 9.1 |  |  |
| 持ち物の整理や片付けなど，生活に必要なことのモデルとなっている。 | 36.4 | 54.5 | 9.1 |  |  |
| いつも心をこめて，元気に明るくみんなに挨拶をしている。 | 81.8 | 18.2 |  |  |  |
| 幼児が人の話を聞く，話すなど，集団生活のきまりに気付かせる指導を工夫している。 | 36.4 | 63.6 |  |  |  |
| 教師が率先して戸外活動に取り組み，運動する楽しさや体力向上に向けての遊びを意識している。 | 18.2 | 72.7 | 9.1 |  |  |
| 保護者 | お子様は，挨拶や片付けなど，望ましい生活習慣が身に付いてきている。 | 45.6 | 49.4 | 5.1 |  |  |
| お子様は，体を動かすことが好きになり，たくましく健康に育っている。 | 75.9 | 21.5 | 1.3 | 1.3 |  |
| お子様は，好き嫌いをせず，食べることを楽しみ，自分の体や健康に関心をもつようになってきている。 | 44.3 | 36.7 | 17.7 | 1.3 |  |
| お子様は，自分でできることは自分でしようとする力が身に付いてきている。 | 46.8 | 41.8 | 10.1 | 1.3 |  |
| お子様は，集団生活のルールやマナーが身に付いてきている。 | 50.6 | 44.3 | 2.5 |  | 2.5 |

・　教師は基本的な生活習慣の自立のため，適切な関わりをしていかなければならないが，幼児のモデルとなることができていないと感じている教師がいる。挨拶については，100％の教師が心を込めて明るく挨拶ができるようにしていかなければならない。

* 基本的な生活習慣の確立には年齢差や個人差があるため，これからも幼児一人一人に応じたきめ

細やかな指導をしていきたい。

・　たくさんの幼児が体を動かすことが好きになっており，改めて戸外での活動の大切さを感じた。年限別に園庭を利用したり，リズム室を活用したりするなど，運動遊びを有効にできるよう工夫していきたい。

* 幼児の実態として，幼児が自分でできることを保護者が先にしてしまったり，誰かにしてもらお

うとしたりする傾向がある。『自分でできることは自分でしようとする力』については，幼稚園生活の様々な場面において育まれるものであり，そのような場面を教師がしっかりと捉えて援助していく必要がある。

* 食育については，幼稚園ではみんなで同じ物を食べる機会が少ないが，今年度からカレーパー

ティーややきいもパーティーも再開できている。食事の場面では，好き嫌いの多い幼児や遊びながら食べるため時間がかかり過ぎる幼児がいる。野菜の栽培では，幼児から家庭で食べた話を聞いたり，お弁当に入れてくれたりして，家庭に協力いただいている。これからも食育に取り組み，自分の体や健康に興味をもつことができるようにしていきたい。

（６）指導計画・評価　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（％）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 観　点 | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ | Ｅ |
| 教師 | 年間計画や指導計画の中で，季節に応じた遊びの流れや環境を計画的に取り入れている。 | 18.2 | 63.6 | 9.1 | 9.1 |  |
| 日々の保育を記録し，省察して次の計画に生かし，保育内容の充実を図っている。 | 9.1 | 63.6 | 9.1 | 18.2 |  |
| 保護者 | 幼稚園は，教育目標に沿って有意義な教育活動を行っている。 | 84.8 | 12.7 | 1.3 |  | 1.3 |
| 幼稚園は，子どもの成長・発達にとって意味のある行事をしている。 | 91.1 | 6.3 | 1.3 |  | 1.3 |

・　保育内容を充実させるためには，日々の保育を反省し，環境の再構成をしたり，援助のあり方

を考えたりするなど，次へつながるような作業が必要である。日々の記録はできているが，それ

を次の計画に生かすことが十分ではないと思う。常にＰＤＣＡサイクルを意識して，教師間で共

通理解を図りながら，園全体の教育力が高まるよう実践していくようにする。

・　保護者の方は，幼稚園教育についてご理解いただき，様々な教育活動が有意義であると感じて

くれている。行事についても見直しを検討したり，新しく取り入れたりしていく必要がある。

その行事の目的や意味をしっかりと伝え，保護者にも納得していただけるようにしていきたい。

（７）保護者への対応　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　（％）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 観　点 | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ | Ｅ |
| 教師 | 幼児の姿をわかりやすく伝え，保護者とのコミュニケーションを十分とろうとしている。 | 45.5 | 54.5 |  |  |  |
| 保護者の声や意見を十分聞き入れて，園生活や園行事に生かしている。 | 9.1 | 90.9 |  |  |  |
| 保護者と密な連携をとり，幼児の育ちを支える保育を展開している。 | 18.2 | 81.8 |  |  |  |
| 保護者 | 幼稚園は，園だよりや配布物，降園時の連絡，ホームページなどを通して，幼稚園の教育活動についてわかりやすく伝えている。 | 55.7 | 38.0 | 6.3 |  |  |
| 保護者との連携を大切にし，相談に応じたり家庭への連絡を行ったりしながら，子どもの成長を支援している。 | 74.7 | 21.5 | 3.8 |  |  |
| あなたは，子どもについて教師と話したことを子育てに役立てている。 | 67.1 | 24.1 | 6.3 |  | 2.5 |

・　教師は保護者の方とコミュニケーションをとり，連携して幼児の育ちを支えていこうという気

持ちで取り組んでいる。しかし，保護者の中には，幼稚園教育をわかりやすく伝えているとは思

わない方もいる。特に預かり保育を利用している方には，担任と話をする機会が少なく，子ども

の様子を十分に伝えることができていないのが現状である。掲示板を活用し連絡が行き届くよう

にしたり，何でも話し合えるような雰囲気作りを心掛け，幼児の育ちや姿を伝えたりすることを

きっかけに，保護者との信頼関係を築いていくようにしたい。

・　保護者からの要望や意見，幼児についての話などは，全教師が対応できるよう，教師間の報告・

連絡・相談を徹底していく必要がある。

（８）教師の資質向上　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（％）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 観　点 | Ａ | Ｂ | Ｃ | Ｄ | Ｅ |
| 教師 | 外部の研究会や研修会に参加し，研修成果を実践に生かしたり，園内で研修したりした。 | 18.2 | 72.7 | 9.1 |  |  |
| 教師自身の保育の評価・反省を行い，改善を図るように努力している。 | 36.4 | 63.6 |  |  |  |
| 教師の人権感覚を磨き，人権尊重の精神を育む保育実践に努めている。 | 27.3 | 72.7 |  |  |  |

・　外部の研修会に積極的に参加している教師は少ない。教師の資質向上が幼児の育ちにもつながることを踏まえ，市教委主催の研修会で学んだことを全教師に伝え合ったり，教師間で教材研究をする時間をつくったりして，教師の感性を磨き，保育に生かすことができるようにしていきたい。

・　幼児に寄り添い，温かい気持ちで受け止める教師の姿勢が幼児にも伝わり，友達の思いに気付

いたり，思いやりの気持ちで関わったりする姿となっている。幼児一人一人に丁寧に関わること

が，幼児期の人権教育につながっていると思う。教師自身が余裕をもち温かい気持ちでいること

が，幼児にとって豊かな人的環境の一つとなっている。教師自身が様々な事柄に興味をもち，自

ら体験し感じることで，人権感覚を磨いていく必要がある。

３　学校関係者評価の結果と今後の改善方策について

（１）評議員会について

○　今年度の教育活動及びアンケート結果について

・今年度は，徳島市・佐那河内村人権教育研究大会で公立幼稚園が会場園となっており，助任

　幼稚園，千松幼稚園，国府幼稚園の３園で公開保育をした。公立幼稚園だけでなく，私立幼

稚園や保育所，認定こども園の先生方に参観していただき研究協議をしたことは大変勉強に

なった。園内研修として，人権教育に関する講話を聞いたり，アドバイザーの先生に指導案

や保育を見ていただいたりすることによって，活動や環境を話し合う機会が増え，教育の質

を上げることにつながったのではないかと思う。

・本園の教育については，『幼稚園は園だよりや配布物，降園時の連絡，ホームページなどを通

して，幼稚園の教育活動についてわかりやすく伝えている』という項目で『あてはまらない』

と回答した方が多くなっている。一時預かり保育を利用している方が多くなり，保護者と話を

する機会が以前に比べると少なくなっているかもしれない。

・子どもの生活や成長に関するアンケートでは，年限によって差があると思うが，『好き嫌いを

せず，食べることを楽しみ，自分の体や健康に関心をもつようになってきている』『自分でできることは自分でしようとする』『相手の気持ちに気付いたり，自分の思い通りにならないときに我慢したりすることができるようになっている』などの項目でできていない幼児が多くみられる。みんなで同じものを食べる機会が少ないため，野菜の栽培などを通して食育に取り組んでいる。今年度はカレーパーティーややきいもパーティーも実施することができた。

　・行事についてはほぼコロナ禍前のように戻っている。小学校で給食体験をさせていただいた

り，中学生が保育実習に来たり中学校まで避難訓練をさせていただいたりするなど，小中学校

との交流も再開できた。

* 評議員の意見･感想

・幼稚園は園だよりや配布物などで，幼稚園の教育活動を分かりやすく伝えられていると思われ

ていない保護者がいるが，最近は何でもメールでやりとりをするようになっている。保護者への手紙もホームページやマチコミを利用する方がよいのだろうか。そうなると先生の負担も大きくなるので大変だと思う。

・ 防犯対策については，保護者も安心して預けるためにはとても必要なことだと思う。防犯カ

メラを設置してほしいという要望があったとき，町内会では防犯カメラ本体は町内会で購入し，

維持費は希望した人が負担するというような取組をしている。市教委ではできないのだろうか。

　・避難訓練の必要性を感じている。徳島中学校の４階まで避難する訓練ができたことはよかった。

地域でも防災訓練をしているので，小さいお子さんや保護者の方にも参加してほしい。

　・外部講師をお願いすると，費用がかかるのではないか。オペラやピアノなどのプロの方で負担

がなく呼ぶことができる講師もいるのではないか。コロナ禍前は，ボランティアで絵本の読み

聞かせも実施していたと思う。

（２）来年度への課題および改善方策

・防犯対策は喫緊の課題である。西門の高さについては，市教委にも要望するとともに，門や玄

関を閉めるために，保護者に登園時間を守ることなどの理解が得られるようにする。

・防災については，職員間で危機管理を徹底するとともに，引き続き中学校とも連携して様々な場面を想定した避難訓練を実施していく。

・一時預かり保育を利用している保護者にも幼稚園での生活の様子が伝えられるよう，その日の

各クラスの活動等を掲示する。また，個別に話をしたい保護者が気軽に声を掛けていただける

よう，保護者との信頼関係を築くとともに雰囲気づくりに心掛けていきたい。幼稚園教育や園

の教育方針については，ホームページを活用して保護者や地域の方にわかりやすく伝えていく

ようにする。

・基本的生活習慣の確立のため，食育や体力向上に向けての教育内容を工夫して取り組み，保護者に対する啓発にも力を入れていきたい。評議員の方や保護者からいろいろな情報をいただき園外保育等で地域へ出て行くなど，多様な経験ができるようにしていきたい。

・未就園児園開放は，今年度よりも時間を延ばすなどして充実にむけて取り組んでいきたい。

　・今年度の３歳児は，コロナ禍で生まれた子どもたちである。外遊びが少ないことにより，運動

面での発達に影響があるのか，人とのコミュニケーションも不足しており，その発達がどのよ

うなものなのか，今後注視していく必要があると思う。また，活動の中に運動遊びやコミュニ

ケーションが必要な遊びを多く取り入れていくことも考えていきたい。